DTP作業を楽にする スクリプト入門(1)

たけうちとおる



はじめに(自己紹介)

たけうちとおるです

以前は QXPの文字ツメツール楽進とか シェアウェアを出していました。



はじめに(自己紹介)

最近はスクリプトノートとか ブログとかやっています。

http://www.adg7.com/takenote_b/

🗧 😑 🕤 🖌 Арр	oleScript=>lllustratorの関数一覧や覚えておきたい基本事項のノート	$\Theta \Theta \Theta$	たけうちとおるのスクリプトノート	
< > < + <	http://www.adg.bne.jp/takenote/note/ASIIlustrator/index.html	 C + http://doi.org/10.1000 	//www.adg7.com/takenote_b/	RSS • Q- Google
□ ふぶり 遊文舎▼ Yahoo!	検索▼ Private (3659)▼ アップル (3)▼ 仕事▼ Webの仕事▼ Script▼ お役立ち▼ >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	□□ ぶぶり 遊文舎▼ Yahoo! 検索	氣▼ Private (3659)▼ アップル (3)▼ 仕事▼ Webの仕事▼ Script▼ お役立ち▼ 府大WEB名	刺一覧
AppleScript=>Illustratorの		たけうちとおるのスクリプトノ		
メニューへ <u>•たけうちとおるのホ (ト</u> <u>+01はじめに</u> <u>+Tips</u> +character		たけうちと	おるのスクリプトノート	D同十匹DTD研究会主でに支守させ
properties set color範囲指定 set font set font est font set font範囲指定 カニニング 挿入する ±color ±document ±document	Illustratorは9からAppleSoript対応(評価版) 10から正式対応しました。けっこうちゃんと動いてくれるので エクセルデータを流し込んだりとチラシなどの日常業務に最適です。 またアビアランスや、ドロップシャドウなどの効果もかなり良く ぜひパーションアップしたいものです。	https://doi.org/10.222 たいと思っていまず。よろ カテゴリ ・ダウンロード ・Illustrator (15) ・InDesian (21) ・ほか(4)	THUE KAY J Y E C J Y E C J Y E C J Y E C J Y E C Y	検索 検索 お問い合わせ
+group	TOPA	• <u>資料など (1)</u>	たぶんIllustratorCS4でも動くと思います。CS2では動きませんでした。	<u>お問い合わせはこちら</u>
+paragraph +paragraph +pated item +rectangle +save +save +symbol +text +サンブル +マスク +レイヤー +選択された	control bounds オプジェクトを選択してドラッグするときに表示される輪郭。 オプジェクトを選択してドラッグするときに表示される輪郭。 オプジェクトは100とまわり大きい。 geometric bounds オプジェクトに期の設定がされていれば 線幅も加えたサイズになる。	 AppleScript ・ 金属地の入力pleScript(9) ・ AppleScriptの構文(8) ・ AppleScriptの構文(8) ・ AppleScriptの建設(1) ・ アブリケーションコントロール(5) ・ AppleScript(10) ・ Einder(6) ・ エラー気運(2) ・ AppleScript=>illustrator ・ Usstratorをコントロールす (5) 	フォルダを選択 再リンクしたい画像が入ったフォルダを選択してください ・ ・ ・ ・<	 最近のコメント ビ・ロッジ:たけうちさま。わか 蓋 を放送し たけうちとおる: 作ってみました。 ト<u>間をを読む</u> たけうちとおる: kanisetoさん 読査 を読む kamiseto: selectaを to: 読査を読む たけうちとおる: matsuさん あり 蓋 査を読む matsu:たいへん単立させてい 読査 を読む たけうちとおる: mgさん 動作報告あ 読査を読む mg: こんにちは ものかの 読者を読
	TOPA	 AppleScript->InDesign InDesignをコントロールする	Table2text.scpt takeScreenRec 画像入れ着え.scpt 体数	たけうちとおる: ビ・ロッシさんは じめ <u>続きを読む</u> ビ・ロッシ: はじめまして。 いつ <u>続</u> きを読む
	Tips/オブジェクトが存在するか?	●IDML ●設定など (1) ●d00)DTP ● <u>Acrobat (1)</u>	・ ****************************	 最近のブログ記事 14)(拡張子だけ違う)配置面像の 再リンク 10)(立字内容に合わせてフレームを FTT 10)なブリック人を範囲で運行
			フォルダ選択ダイアログが出てきますので、画像の入ったフォルダを選択してくださ 配置画像の再リンク ドキュメントのリンクで名前が一致するものだけが 再リンクされます。	12世ノノモロロレイロロ ファイル名技術画後 30丁正シール複製 00川DMLToolsセットアップ (WinVista) 11川Wistatorスクリプトパレット

- ファイル -

Xcodeでインターフェイスの

はじめに(自己紹介)

この勉強会のために前回の勉強会(3/7)からスクリプトをブログにアップし続けて

- InDesign :21
- Illustrator :15
- ほか :4
- 合計 40 のスクリプトをアップしました。

よろしくお願いいたします m(_ _)m

スクリプトの紹介

手作業ではこうなる スクリプトではこうなるの紹介

(ダンロードとインストール)



・InDesign スクリプト

ルビ支援、検索置換、再リンク、PDF 配置、キャプション、 選択画像を個別に変形、繰り返し複製、表、部分角版



・Illustrator スクリプト

範囲選択、複製、部分拡販、保存、トンボ、Map データ



・大阪 DTP 勉強部屋記念スクリプト

文字内容に合わせてフレームを FIT、 拡張子だけ違う配置画像の再リンク

どんな作業がスクリプトで出来るか

どんな作業がスクリプトで出来るか

- ・手作業でできることはほとんど Script で出来ます。
- ・基準としては同じ作業を繰り返す場合や大量に処理が ある場合(小組みを大量に作るとか 1000 程度の画像 の解像度を揃えるとか)

・コツとしてはショートカットでできればいいのにと思う瞬間(表の罫線の線幅変更のような良く使う処理とか書体指定などでの定型処理など)

まず google で検索します。基本機能で出来る場合が あるので。なければスクリプトを作成します。



InDesign 自動処理実例集

参考サイト

山ほどあります。

検索してみてください。

検索ワード

InDesign CS3 JavaScript など



・ExtendScript Toolkit2の使い方

0	00) 🦉	訂正シール複製.jsx						(P2 - 2)
60	Adol	be InDesign CS3	main	: •	u .	• >	V A	∫ JavaScript コンソール ×	
1		//#####################################							
2		//InDesignCS3で繰り返し複製します。							
3		//基本機能と違うのはX方向Y方向同時に複製します。							
4		//訂正シール用にトンポをつけることと						1	
5		//デフォルト値の移動量にオブジェクトのサイズが入り							
6		//移動回数はページサイズ/オブジェクトサイズを四捨五入した値がは	いるようになっています。						
7		//つまり、何も設定せずに作成してもそこそこの結果が得られるとい	う事です。						
8		//たけうちとおる					4		
9		//#####################################					- 1		
10							- 1		
11		//ダイアログ表示のおまじない					- 1		
12		app.scriptPreferences.userInteractionLevel=16993	11169;				- 1	1	
13							- 1		
14		main();					- 1		
15							- 1		
16	F	function main(){					- 1	Adobe InDesign CS3	
17	F	if (app.documents.length == 0){					- 1	スクリプト ブレークボ コ	ールスダ データブラウザ X
18		alert("ドキュメントを開いてください");					- 1		
19		return;					- 1		
20	L	}					- 1	🕨 🕥 apps = [Array) bridge-2.0,devicecentral-1
21	片	if (app.selection.length == 0){					- 1	🕨 🕥 bridge = [obj	ect Object]
22		alert("オブジェクトを選択してください");					- 1	bridge2 = [ob	oject Object]
23		return;					- 1	BridgeTalk =	[object BridgeTalk]
24		}					- 1	illustrator13	object Objectj = [object Object]
25		<pre>var selbounds = getselectedbounds(app.select)</pre>	on);				- 1	indesign = [0	biect Object]
26		<pre>var pagebounds = app.activeWindow.activePage</pre>	e.bounds;				- 1	▶ 🕥 indesign5 = [object Object]
27		<pre>var dupWidth = pagebounds[3]-selbounds[1];</pre>					- 1	Stockphoto =	[object Object]
28		<pre>var motoXcount = Math.round(dupWidth/(selbo))</pre>	unds[3]-selbounds[1]));				- 1	① stockphoto_e	xist = false
29		<pre>var dupheight = pagebounds[2]-selbounds[0];</pre>					- 1	stockphoto_in	nsideBridgeApp = false
30		var motoYcount = Math.round(dupheight/(selb	ounds[2]-selbounds[0]));				- 1	VcSDKHandle	= null
31		//ダイアログを作成する					- 1	versionCuest	KLoader = [object Object]
32		myDialog = app.dalogs.add({name:"#JEV-//	(% **});				- 1		
33	님	with (myDialog) {					- 1		
34	님	with (dalogColumns.add()){					- 1		
35	T	with(borderPanels.add()){					- 1		
36	-	staticiexts.add({staticLadel:"選択された。	コノンエントで練り返し復殺します(半位はドキュメ	ノト松仔/ 1)	,				
37	H	}					- 1		
30	Т	war listnerrent = new Arrow "1" "2"	"3" "/" "5" "6" "7" "8" "0" "10" .					2	
39		staticTexts add(/static above ####################################	「 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、				A		
40		staturexts.auu((staturabel: #020	F13A 7 //			_	T a b	-	
				(T 1 T)	1		1.1		
				11 I 21	T				

ExtendScript Toolkit2 は Mac ではアプリケーション : ユーティリティ :Adobe ユーティリティにあります。 Win ではスタートメニューの Adobe Design Premium CS3 の中にあります。

ソースのプルダウンを対象のアプリケーションにします。 コマンド +S で保存する時にソースに S と入力される時 があるのでご注意

ヘルプからオブジェクトモデルを調べる事ができます。

ヘルプ	
Core J Script	lavaScript Classes UI Classes
Adob Adob	e Bridge CS3 Object Model e Illustrator CS3 Type Library
Adob	e InDesign CS3 オブジェクトモデル
Exten SDK	dScript Toolkit ReadMe
7.117	/≓_ト

Cell.contents

Data Type: any

The text contents. For rows or columns, when specified as a string, the sting populates each cell in the row or column; when specified as an array, the first value in the array populates the left-most cell in the row or the top-most cell in the column; the next value populates the next cell to the right (for rows) or the next lowest cell (for columns), and so on. Can return: String, SpecialCharacters enumerator or Array of Strings or SpecialCharacters enumerators. Can also accept: NothingEnum enumerator or Array of Strings, SpecialCharacters enumerators or NothingEnum enumerators.

行をクリックするとブレークポイントを設定する事が出 来ます。再生ボタンをクリックするとスクリプトが動き 出し、ブレークポイントでストップします。

ステップ実行すると変数の値をデータブラウザで調べる 事が出来ます。

0	🖯 🖯 🧕 🍕 ルビ にする.jsx	
æ	Adobe InDesign CS3 🗘 🖬 (main 🗘 🕨 📗	
14 15 16	alert("テキストフレームを選択ツールで選択してください。"); }	スクリオブレーダ コールズ データブラウザ× →= 勉強会(べん) きょうかい
18 19 20 21 22 23 24 25 26	<pre>var strAry = myStr.split ("/"); var kanji = strAry[0]; var kanjiCount = kanji.length; var kana = strAry[1]; var kanaAry = kana.split("."); var rubyCount = kanaAry.length; if(rubyCount == 0){ alert("「誕生日/たん,じょう,び」のようにしてください。"); else if(rubyCount == 1){</pre>	 apps = [Array] bridge-2.0,devicecen bridge = [object Object] bridge2 = [object Object] BridgeTalk = [object BridgeTalk] illustrator = [object Object] illustrator13 = [object Object] indesign = [object Object] indesign5 = [object Object] itemCount = 1
27 28 29 30 31	selList[0].characters.itemByRange(0, kanjiCount-1).rub) selList[0].characters.itemByRange(0, kanjiCount-1).rub) selList[0].characters.itemByRange(0, kanjiCount-1).rub) selList[0].characters.itemByRange(kanjiCount, -1).conte	 myDocu = [object Document] myStr = 勉強会/べん.きょう.かい の selList = [object Paragraph] の stockphoto = [object Object] の stockphoto_exist = false の stockphoto_insideBridgeApp = false か this = [object global]

- Scriptのカスタマイズの仕方
 PDF 配置(初期値を変更)
 検索置換(検索文字、置換文字を変更)
 上達のコツ
 - とにかく書く事です。

pdf 配置比率または FIT.jsx 実行すると

0	00	gdf配置比率指定.jsx	
63	Ado	be InDesign CS3 🕴 main 📢 🕨 II 🔳 🕨 🗸	
7	_	//#####################################	6
8			
9			
10		//ダイアログ表示のおまじない	
11		app.scriptPreferences.userInteractionLevel=1699311169;	
12		//////下記が初期値になりますので編集してください。////////	
13		//配置スタートページ	PDFをInDesignに配置します。
14		var startpage = 1;	
15		//PDFのスタートページ	
16		<pre>var pdfstartpage = 1;</pre>	
17		//トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 裁ち落とし=4 メディア=5	
18		var pdfplaceopt = 0;	トリミング バウンディングボックス
19		//左ページ塗りたし天	
20		<pre>var i_ten = 3;</pre>	
21		//左ページ塗りたし地	左ページの塗り足し、 右ページの塗り足し
22		var l_chi = 3;	
23		//左ページ塗りたしノド	天 3 mm 地 3 mm 天 3 mm 地 3 mm
24		var l_nodo = 0;	
25		//左ページ塗りたし小口	
26		var l_cogu = 3;	
27		//右ページ塗りたし天	
28		var r_ten = 3;	左ページPDFの配置方法 右ページPDFの配置方法
29		//右ページ塗りたし地	WOTHER 100%
30		var r_chi = 3;	
31		//右ページ塗りたしノド	日の変倍率 100% ↓ 日の変倍率 100% ↓
32		var r_nodo = 0;	
33			X方向の空き -10 mm X方向の空き
34		var r_cogu = 5;	V方向の空き -10 mm V方向の空き -10 mm
35			IMPOTE IMPOTE
30		Var Linyreiw = 100; //#w_sibbergiter/_wash	1
38		var I myPerH = 100.	(C)2009 Toru Takeuchi このスクリプトはフリーウェアです。
30		Val L_myren = 100, //ホページアトの改きソカ曲	
40		var lakix = -10:	
41		//左ページPDFの空きV方向	
42		var akiv = -10:	
43		//右ページPDFの水平パーセント	
44		var r_myPerW = 100;	
45		ノ/右ページPDFの垂直パーセント	
46		var r_myPerH = 100;	
47		//右ページPDFの空きX方向	
10			
		(m - 10)	
1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

初期値を入力するとダイアログの内容を変える事が出来

ます。

0	0 😝	8	pdf配置比率指定.jsx				
sa [Adobe InDesign CS3	\$	main	•	ii.	> ¥	A
10	//ダイアログ表示のおまじない						E C
11	app.scriptPreferences.userInteract	ionLeve	el=1699311169;				
12		ください	. ////////				
13	//配置スタートページ						
14	<pre>var startpage = 1;</pre>						
15	//PDFのスタートページ						
16	<pre>var pdfstartpage = 1;</pre>						PDFをInDesignに配置します。
17	//トリミング パウンディングポックス=0 ア	1	トリミング=2 トンボ=3 裁ち落とし=4	メディア=5		-	isi elibesigineto e o o o o
18	<pre>var pdfplaceopt = 0;</pre>						
19	//左ページ塗りたし天					l n	
20	var l_ten = 0;						
21	//左ページ塗りたし地					H	・リミング パウンディングボックス
22	var l_chi = 0;						
23	バ左ページ塗りたしノド						
24	Var I_nodo = 0;						左ページの塗り足し 右ページの塗り足し
25							
20	//= 0;						天 on m 地 on m 天 on m 地 on m
28	var r ten = 0:						
29	//右ページ塗りたし地					11	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
30	var $r_chi = 0;$						
31	//右ページ塗りたしノド					1	
32	var r_nodo = 0;						
33	//右ページ塗りたし小口					V	Vの変倍率 100% 🗧 🛛 🛛 🛛 🚽 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘
34	<pre>var r_cogu = 0;</pre>						
35	//左ページPDFの水平パーセント					- I P	
36	<pre>var l_myPerW = 100;</pre>					X	(方向の空き 0 mm X方向の空き 0 mm
37	//左ページPDFの垂直パーセント						u tath 0mm
38	var I_myPerH = 100;					Y	7万回の空き 011111 Y万向の空き 011111
39	//左ページPDFの空きX方向						
40	var I_akix = 0;						(C)2009 Toru Takeuchi このスクリプトはフリーウェアです。
41	7/左ページPDFの空きY方向						
42	$Var I_d KIY = 0;$ $U = x - s^{2} D E O + T U = + 2 V E$					-	
43	var r mvPerW = 100						
45	$//5 \sim -5 PDE 0 \pm 6 (1 - 2 \times 1)$						
46	var r myPerH = 100:						
47	//右ページPDFの空きX方向						
48							
49	//右ページPDFの空きY方向						

検索置換(1)変換.jsx これは(1)を(1)に検索置換するスクリプトです。 $\Theta \Theta \Theta$ 🥌 検索置換(1)変換.jsx (1)を①に検索置換す ÷ + Adobe InDesign CS3 main 11 //ダイアログ表示のおまじない 9 るようにカスタマイズ 10 app.scriptPreferences.userInteractionLevel=1699311169; 11 function find_and_replace(myObject,myCheckSelection){ 12 13 してみます。 14 15 //-----

//takeFindText(myObject,"検索文字","置換文字","検索文字スタイル","置換文字スタイル","検索段落スタイル","置 16 17 18 //takeFindGrep(myObject,"検索文字","置換文字","検索文字スタイル","置換文字スタイル","置換文字スタイル","置換文字","検索段落スタイル","置 19 //-----20 21 //このような感じで使ってください。 22 23 //全角カッコと半角数字 takeFindText(myObject," (1) ","<2474>", "", "", "", "", myCheckSelection); 24 25 takeFindText(myObject," (2) ","<2475>", "", "", "", "", myCheckSelection); 26 takeFindText(myObject," (3) ","<2476>", "", "", "", "", myCheckSelection); 27 takeFindText(myObject," (4) ","<2477>", "", "", "", "", myCheckSelection); 28 takeFindText(myObject," (5) ","<2478>", "", "", "", "", myCheckSelection); 29 takeFindText(myObject," (6) ","<2479>", "", "", "", "", myCheckSelection); 30 takeFindText(myObject," (7) ","<247A>", "", "", "", "", myCheckSelection); takeFindText(myObject," (8) ","<247B>", "", "", "", myCheckSelection); 31 32 takeFindText(myObject," (9) ","<247C>", "", "", "", ", myCheckSelection); 33 takeFindText(myObject," (10) ","<247D>", "", "", "", "", myCheckSelection); 34 takeFindText(myObject," (11) ","<247E>", "", "", "", "", myCheckSelection); 35 takeFindText(myObject," (12) ","<247F>", "", "", "", "", myCheckSelection); 36 takeFindText(myObject," (13) ","<2480>", "", "", "", "", myCheckSelection); 37 takeFindText(myObject," (14) ","<2481>", "", "", "", "", myCheckSelection);

takeFindText(myObject," (1) ","<2474>", "", "", "", myCheckSelection);

の"(1)" が検索文字 "<2474>" が置換する Unicode の番号です。 InDesign の字形パレットで①の番号を調べます。

下記のように入力して実行すると検索置換できました。

0	→ 一
69	Adobe InDesign CS3 🔹 main 🔹 🕨 II 🔳 🕨 🔺
9	//ダイアログ表示のおまじない
10	app.scriptPreferences.userInteractionLevel=1699311169;
11	
12	Function find_and_replace(myObject,myCheckSelection) { (1) (0) ちちちちち
13	
14	//takeFindText(myObject, "検索文字", " 置換文字", " 検索文字スタイル", " 置換文字
15	//
16	
17	
18	//takeFindGrep(myObject, "検索文字", "置換文字", "検索文字スタイル", "置換文字
19	//
20	
21	//このような感じで使ってください。
22	//=通常の検索置換
23	//全角カッコと半角数字
24	takeFindText(myObject," (1) ","<2460>", "", "", "", myCheckSelection);
25	takeFindText(myObject," (2) ","<2461>", "", "", "", myCheckSelection);
26	takeFindText(myObject," (3) ","<2462>", "", "", "", myCheckSelection);
27	takeFindText(myObject," (4) ","<2463>", "", "", "", myCheckSelection);
28	takeFindText(myObject," (5) ","<2464>", "", "", "", myCheckSelection);
29	takeFindText(myObject," (6) ","<2465>", "", "", "", myCheckSelection);
30	takeFindText(myObject," (7) ","<2466>", "", "", "", myCheckSelection);
31	takeFindText(myObject," (8) ","<2467>", "", "", "", myCheckSelection);
32	takeFindText(myObject," (9) ","<2468>", "", "", "", myCheckSelection);
33	takeFindText(myObject," (10) ","<2469>", "", "", "", myCheckSelection);

突き詰めていくと 自動組版への移行できます。

123-da!の紹介 WordXMLの変換

ちょっとだけ未来のお話 IDML